

環境経営レポート

対象期間 2022 年度(2022 年 11 月～2023 年 10 月)



株式会社中屋總業

作成 2023 年 12 月 22 日

目次

1. 取組みの対象組織・活動.....	2
2. 実施体制図	3
3. 事業の全体計画	3
4. 環境経営方針.....	4
5. 許可証.....	5
6. 主な環境負荷の実績.....	7
7. 環境経営目標.....	7
8. 環境経営目標とその実績.....	8
9. 環境経営計画の実施評価と次年度の取組み	9
10. 環境関連法規等の遵守評価結果.....	10
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
12. 環境活動の実施.....	11

1. 取組みの対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社中屋總業

代表取締役社長 栗飯原 啓雄

(2) 所在地

本社 〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町 6 丁目 20 番地 1 号-1001

車両管理センター 〒265-0044 千葉県千葉市若葉区下泉町 1277

白子選別工場 〒299-4217 千葉県長生郡白子町北高根 2725-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 加藤 学 Tel 043-310-7857

担当者 加藤 学

(4) 事業内容

一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物の収集運搬業

一般廃棄物処理業

(5) 事業規模

・法人設立日 昭和 54 年 11 月 7 日

・資本金 800 万円

・売上高 180 百万円 (2022 年 11 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日)

・従業員数 17 名

本社 0 名

車両管理センター 4 名

白子選別工場 13 名

・面積 車両管理センター 床面積 73 m² 敷地面積 1,870 m²
白子選別工場 床面積 10 m² 敷地面積 1,820 m²

・処理量

産業廃棄物収集運搬量 1,247 t / 年

一般廃棄物収集運搬量 579 t / 年

一般廃棄物処分量 783 t / 年

(6) 車両の種類・台数

①収集運搬車両

車種	積載量	台数
脱着装置付きコンテナ専用車	3.7t	2 台
キャブオーバ	4t	1 台
キャブオーバ	3.45t	1 台
キャブオーバ	2t	2 台
塵芥車	1.85t	2 台
バン	0.25t	1 台
合計		9 台

②処理作業重機

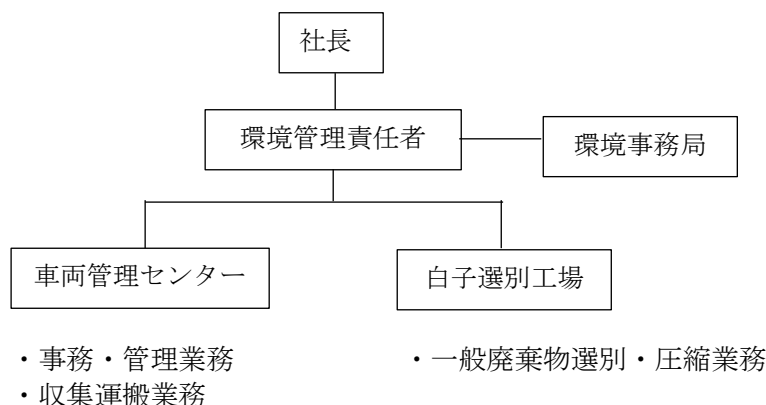
車種	台数
フォークリフト	3 台
ショベルローダ	4 台

□対象範囲 （認証・登録の対象組織・活動）

登録組織名 株式会社中屋總業
 関連事業所 車両管理センター
 白子選別工場
 活動 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物の収集運搬業
 一般廃棄物処分業

本社は、登記上の本社であり、環境活動がないため除く。

2. 実施体制図



	役割・責任・権限
代表取締役社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施必要な資源の準備 - 環境管理責任者の任命 - 組織の全体の評価と見直し及び指示 - 環境活動レポート、環境関連法規等まとめ表 - 環境経営目標、環境経営活動計画の確認、承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 代表者への運用実績等の報告 - 環境経営目標・環境経営活動計画の策定 - 環境文書・記録の作成・管理 - 環境関連の外部コミュニケーション窓口
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境経営目標・環境経営活動計画案の作成 - 環境文書案の作成 - 活動実績の集計
部門長	- 自部門に関連する環境経営活動計画の実施 - 達成状況の報告 - 教育・緊急事態対応の実施 - 自部門の問題点の発見、是正・予防処置実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境活動実施 - 決められたことは守る

3. 事業の全体計画

- 産業廃棄物を排出事業者が指定する運搬先への収集運搬（積替え保管を除く）
- 一般廃棄物を処理（選別・圧縮）し再資源化

4. 環境経営方針

株式会社中屋總業 環境経営方針

I. 基本理念

株式会社中屋總業は、一般廃棄物収集運搬業及び処分業、産業廃棄物収集運搬業を通じて、環境負荷の低減と循環型社会の実現を目指してまいります。

そして、環境及び廃棄物に係る法令を順守することにより、地域社会への貢献、地球環境の保全へ寄与できるような企業を目指してまいります。

II. 具体的な取り組み

当社は、上記の基本理念を達成するために、自主的かつ積極的に以下の項目に取り組んでまいります。

1. 環境及び廃棄物に係る法令及び条例を順守します。
2. 環境経営活動レポートにて行った取組みを公表するとともに、評価と見直しを図ることで継続的な改善を努めてまいります。
3. 環境への取組として経営における課題とチャンスを踏まえ、下記の活動を取りくみます。
 - ① 省エネによる二酸化炭素排出量削減
 - ② 受託した一般廃棄物のリサイクル
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 作業効率化の推進
4. 従業員に対して環境方針の周知徹底を図ります。

制定日 2022年11月7日

株式会社 中屋總業
代表取締役
栗飯原 啓雄

5. 許可証

(1) 産業廃棄物収集運搬業許可証

許可区域	事業区分	許可番号 許可の年月日 許可の有効年月日	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ ス チ ック 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	金 属 く ず	ぐ ら す く ず ・ 陶 磁 器 く ず	ガ ラ ス く ず ・ コ ン ク リ ー ト	が れ き 類
千葉県 優良	収集・運搬 (積替・保管 を除く)	第 01200080536 号 令和 3 年 2 月 10 日 令和 10 年 2 月 9 日	○ ※	○	○	○	○ ※	○	○	○	○	○ ※	○ ※		○
東京都	収集・運搬 (積替え保管 を除く)	第 13-00-08536 号 令和 4 年 9 月 18 日 令和 9 年 9 月 17 日	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
神奈川県	収集運搬 (積替・保管 を除く)	01400080536 令和 4 年 11 月 20 日 令和 9 年 11 月 19 日	○ ※	○	○	○	○ ※	○	○	○		○ ※	○ ※		○
埼玉県	収集運搬 (積替え保管 を除く)	01100080536 令和 4 年 4 月 2 日 令和 9 年 3 月 6 日	○ ※	○	○	○	○ ※	○	○	○		○ ※	○ ※		○
茨城県	収集・運搬 (積替え保管 を除く)	00801080536 令和 4 年 7 月 1 4 日 令和 9 年 4 月 20 日	○ # △ ◇	○ △	○ △ ◇	○ △ ◇	○ * □ #	○	○	○		○ * □	○ * □ #		○ #
栃木県	収集・運搬 (積替え保管 を除く)	00900080536 令和 4 年 3 月 1 5 日 令和 9 年 3 月 14 日	○ ※				○ ※	○	○	○		○ ※	○ ※		○
群馬県	収集・運搬 (積替え保管 を除く)	01000080536 令和 2 年 10 月 15 日 令和 7 年 10 月 14 日	○				○ ※	○	○	○		○ ※	○ ※		○
長野県	収集・運搬 (積み替え保 管を除く)	2009080536 令和 3 年 5 月 6 日 令和 8 年 5 月 5 日	○ ※				○ ※	○	○	○		○ ※	○ ※		○

(2) 一般廃棄物収集運搬許可証

千葉市	許可番号	第 34 号
	事業所及び事業所所在地	事業所 千葉市中央区都町 1254 番地 9 コスモ千葉グレイスヒルズ 1001 号
事業の範囲	業の区分	収集運搬業 (積替え・保管を除く)
	取扱い廃棄物の種類	一般廃棄物 (ごみ)
	許可更新年月日	令和 5 年 9 月 1 日
	許可期限	令和 7 年 8 月 31 日
	条件	市の指示事項を遵守すること

(3) 道具類商

千葉県公安委員会許可 第 441400001052 号 登録日：平成 20 年 5 月 16 日

(4) 一般貨物自動車運送事業

関東運輸局 1888 号 平成 26 年 3 月 12 日

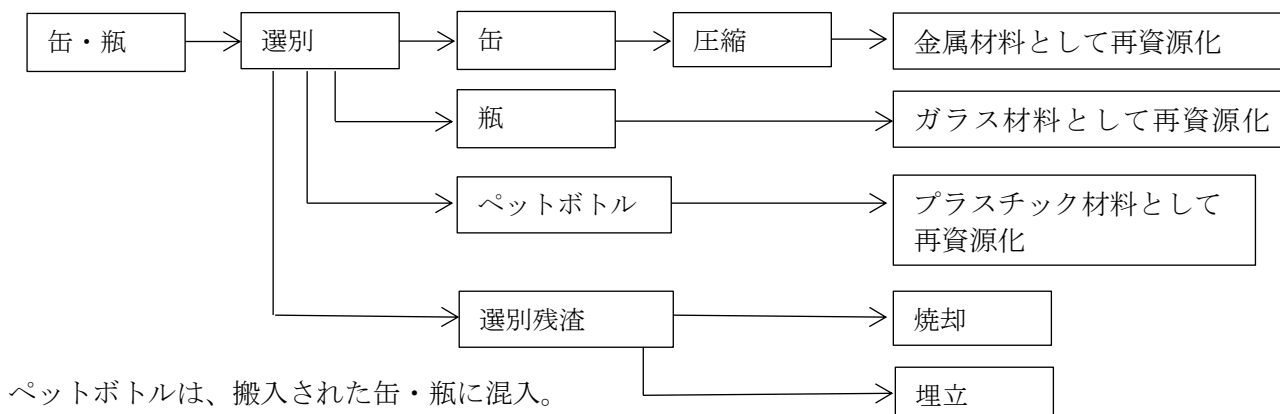
(5) 一般廃棄物処分業許可証

長生郡市 広城市町村 圏組合	許可番号		第業 3 号
	事務所及び事業場の所在地	事務所	千葉市中央区都町 6 丁目 20 番 1 号 コスモ千葉グレイスヒルズ 1001
		事業場	長生郡白子町北高値 2725-1
	事業の範囲	業の区分	処分（中間処理）
		取扱い廃棄物の種類	一般廃棄物（缶・瓶）
	処理施設等の所在地		長生郡白子町北高値 2725-1
	処理施設の種類及び処理能力		ごみ処理施設（選別・圧縮施設） 処理能力 42.4 t / 日（5.3t×8h）
	許可更新年月日		令和 4 年 4 月 1 日
	許可期限		令和 6 年 3 月 31 日
	許可条件		組合の指示事項を遵守すること

(6) 一般廃棄物処理施設設置許可証

千葉県	許可の年月日	平成 13 年 3 月 23 日	許可番号	第 12-9 号
	変更届許可の年月日	令和 2 年 2 月 20 日		
	施設の種類及び 処理する一般廃棄物の種類	ごみ処理施設（選別・圧縮施設） 缶・瓶		
	設置場所	千葉県長生郡白子町北高根字塚ノ間 2725 番地 1 外		
	処理能力	42.4t / 日（5.3 t / 時×8 時間）		
	許可の条件	1. ごみ処理施設における作業は、廃棄物が飛散・流出しないよう衛生的かつ安全に留意して行うこと。 2. ごみ処理施設について、故障、破損等事故が発生したときは、速やかにその状況を報告すること。 3. 一般廃棄物の処分等に関し、必要な報告を求めたときは、速やかに報告すること。		
	留意事項	1. 施設の設置に当たっては、各種関連法規を遵守すること。 2. 計画内容等に変更があった場合は、速やかに連絡し指示を受けること。 3. 施設の使用前検査申請書を提出し、職員の検査を受けること。		

一般廃棄物処理工程図



6. 主な環境負荷の実績

2022 年度(2022 年 11 月~2023 年 10 月)

項目	単位	2022 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	56,466
収集運搬車両の軽油使用量	ℓ	16,183
重機・圧縮機用発電機の軽油使用量	ℓ	215
ガソリン使用量	ℓ	3,136
車両管理センターの電力使用量	kWh	8,601
白子選別工場の選別機の電力使用量	kWh	6,941
産業廃棄物の収集運搬量	t	1,247
一般廃棄物の収集運搬量	t	579
中間処理（選別・圧縮）の処理量	t	783
うち再資源化等量	t	773
中間処理後の選別残渣	t	10
事務所からの廃棄物排出量	t	0.53
水使用量（地下水）	m ³	43

7. 環境経営目標

2021 年度を基準年とした 2022 年度～2024 年度 3 年間の中長期環境経営目標は次の通りです。
年度：11 月～10 月

2023 年 11 月 24 日作成

項目 \ 年度		基準値	2022 年度	2023 年度	2024 年度
		基準年 2021 年度	目標 基準年度比 1%減	目標 基準年度比 2%減	目標 基準年度比 3%減
軽油、電力、ガソリン使用量削減による 二酸化炭素排出量削減 【全社】	Kg- CO ₂	78,649	77,850 以下 実績値 56,466	77,000 以下	76,300 以下
収集運搬車両の収集運搬量当たりの 軽油使用量削減 「軽油使用量／産廃＋一般収集運搬廃棄物」	ℓ／t	9.45 注	9.36 以下 実績値 8.86	9.26 以下	9.17 以下
白子選別工場の重機・圧縮機用発電機の 処分量当たりの軽油使用量削減 「軽油使用量／一廃処理前後合計処 分量」	ℓ／t	9.66	9.56 以下 実績値 8.87	9.47 以下	9.37 以下
車両管理センターの電力使用量削減	kWh	11,375	11,200 以下 実績値 8,601	11,150 以下	11,030 以下
選別機・圧縮機の処理量当たりの 電力使用量削減 「電力使用量／処理量」	kWh ／t	9.66	9.56 以下 実績値 8.87	9.47 以下	9.37 以下
水使用量の削減 【全社】	m ³	54.44 (推定)	54.4 以下 実績値 43.6	54.4 以下	54.4 以下
自社廃棄物排出量の削減 【全社】		実施	実施	実施	実施
缶・瓶の選別・圧縮による再資源化の推進		実施	実施	実施	実施
収集運搬作業の効率化推進		実施	実施	実施	実施

2022 年度から収集運搬量の増加が見込めるため軽油使用量／産廃＋一般収集運搬廃棄物の
目標値を今後の見通しから大幅に変更した。

- (1) 化学物質は使用していないので環境経営目標は設定していない。
- (2) 事務所等からの廃棄物排出量は、少量(530kg)のため環境目標値は設定せず
分別、リサイクルの削減活動を実施する。
- (3) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年1月27日公表 令和2年度実績
東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.443 kg-CO₂/kWh を使用。

8. 環境経営目標とその実績

2022 年度 (2022 年 11 月～2023 年 10 月)

項目	単位	目標値	実績値	達成度	評価
軽油、電力、ガソリン使用量削減による 二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	77,850 以下	56,466	127%	○
収集運搬車両の収集運搬量当たりの 軽油使用量削減 「軽油使用量／産廃＋廃収集運搬量」	ℓ/t	9.36 以下	8.86	105%	○
車両管理センターの電力使用量削減	kWh	11,200 以下	8,601	122%	○
選別機・圧縮機の処理量当たりの 電力使用量削減 「電力使用量／処理量」	kWh/t	9.56 以下	8.87	107%	○
水使用量の削減	m ³	54.4 以下	43.6	120%	○
自社廃棄物排出量の削減	—	実施	実施	—	○
缶・瓶の選別・圧縮による再資源化の推進	—	実施	実施	—	○
収集運搬作業の効率化推進	—	実施	実施	—	○

評価記号：○：達成度 100%以上、 ×：達成度 100%未満

- (1) 二酸化炭素排出量実績値は、2021 年度 78,650kg-CO₂ に対し、2022 年度 56,466 kg-CO₂ と
なった。軽油使用量が前年度より減少した。
- (2) 事務所からの廃棄物排出量は、分別、リサイクルの削減活動を実施した。今後も継続する。
- (3) 缶・瓶の選別・圧縮により再資源化に努めた。

項 目	2021 年度	2022 年度
ガソリン使用量 ℓ	3,853	3,135
収集運搬車両の軽油使用量 ℓ	23,219	16,183
重機・圧縮機用発電機の軽油使用量 ℓ	544	215
選別機、圧縮機の電力使用量 kWh	6,812	6,941
車両管理センターの電力使用量 kWh	11,375	8,601
産業廃棄物収集運搬量 t	1,854	1,247
一般廃棄物収集運搬量 t	603	579
一般廃棄物処理量 t	705	783

9. 環境経営計画の実施評価と次年度の取組み

2022 年度（2022 年 11 月～2023 年 10 月）の実施評価結果及び今後の取組みを下記に示す。

評 価； ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環 境 経 営 活 動 計 画	評価	活動結果と次年度の取組み
(1) 二酸化炭素排出量の削減		目標値達成度 127% *今後も軽油、電力、ガソリン使用量削減に取り組む。
①燃料、電力の削減活動の実施	○	
(2) 軽油使用量の削減 軽油使用量 2021 年度 23,763ℓ ⇒ 2022 年度 16,398ℓ 31%減		軽油使用量は、廃棄物の収集運搬量が減少し 31%減少した。 *今後も作業効率向上等で軽油使用量削減に取り組む。
①収集運搬車両のエコドライブ徹底	○	エコドライブ、アイドリングストップの徹底は定着してきた。 *今後も継続し、省エネ教育を実施し、①～⑤を実施することで軽油使用量削減を図る。
②収集運搬車両、重機のアイドリングストップ徹底	○	
③車両定期点検の徹底	○	
④圧縮機用発電機の効率運転、作業効率の向上	○	
⑤省エネ教育実施（朝礼等）	○	
(3) 電力使用量の削減 電力使用量 2021 年度 18,187kWh ⇒ 2022 年度 15,542kWh 14.5%減		電力使用量は、2021 年に対し 2022 年度は、14.5%減少した。 *今後も作業効率向上等で電力使用量削減に取り組む。
①工場、事務所における昼休み時間の消灯の徹底	○	消灯、エアコンの適正温度での運転は定着してきた。 *今後も継続し、消灯、エアコンの適正温度での運転の徹底及び処理装置の作業効率向上により電力使用量削減を図る。
②冷暖房時適正温度の維持	○	
③処理施設の定期点検、整備	○	
④選別作業の作業効率の向上	○	
⑤残業時間の短縮	○	
⑥節電教育実施（朝礼等）	○	
(4) 事務所・事業場からの廃棄物排出量の削減		分別実施
①分別、リサイクル実施	○	分別実施。電子化及び裏紙使用により OA 用紙削減に努めている。 *今後も継続する。
②OA 用紙使用量の削減	○	
③コピー用紙再利用の徹底	○	
(5) 水使用量の削減 水使用量 2021 年度 54.4ℓ ⇒ 2022 年度 43.6ℓ 20%減		今後も節水等で水使用量削減を図る。
①従業員に対する節水教育実施	○	漏洩はない。 *今後も継続し、洗車水。散水の節約により地下水使用量削減に努める。
②洗車水、散水の節約	○	
③水道配管の漏洩点検	○	
(6) 環境保全活動		工場周辺の清掃活動の実施 整理・整頓実施 3S 活動実施 *今後も継続する。
①事務所、工場、敷地回りの清掃活動実施	○	
②環境配慮商品の優先購入の実施	○	
③3S 活動実施	○	

(7) 製品・サービスの環境配慮		再資源化実施
①収集運搬作業の効率化推進	○	収集運搬の走行ルート見直し等で効率化を図っている。 缶・瓶の再資源化の推進 収集運搬作業の効率化の推進 ＊今後も継続する。
②再資源化の推進	○	

環境活動の結果

環境教育、緊急事態対応訓練、法規制順守評価は、計画通り実施。

10. 環境関連法規等の遵守評価結果

- (1) 当社に適用される主な環境関連法規制は次の通りです。

廃棄物処理法、自動車 NOx・PM 法、道路交通法、道路運送車両法、安全衛生規則、消防法、計量法、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法、自動車リサイクル法、オフロード法、千葉県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則、千葉県産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則、千葉県廃棄物施設の設置及び維持管理に関する指導要綱

- (2) 順守評価結果

環境関連法規制の遵守状況は、2023 年 10 月 31 日に評価したところ法規制等の違反はありませんでした。近隣からの苦情もありませんでした。

なお、関係当局から過去 3 年間にわたって違反、訴訟等はありません。

1 1. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022 年度（2022 年 11 月～2023 年 10 月）の「代表者による全体の評価と見直し・指示」を 2023 年 11 月 20 日（定期）に実施。

環境管理責任者が活動結果を報告。社長から下記の評価、見直し・指示があった。

全体の評価・見直し及び指示

レビューの項目	全体の評価、見直し及び指示
全体の評価	・ 2019 年 7 月から EA21 活動に取組み開始後、削減活動等を実施した。削減活動が定着してきた。 ・ 2022 年度は、年度末ですべての累積目標値を達成した。 ・ 2023 年度目標値は、2022 年度実績及び今後の見通しを考慮して策定すること。 ・ 今後も作業改善等で削減活動を継続するよう指示した。
環境経営方針	変更の必要性 あり ☐ なし ☒ 2022 年 11 月 7 日付「環境経営方針」で問題なし。
環境経営目標	変更の必要性 あり ☒ なし ☐ 今後も継続する見込みであり 2023 年度目標値は、2022 年度実績値、今後の見通しを考慮して見直し策定すること。 環境会議で審議し目標値を決定すること。
環境経営活動計画	変更の必要性 あり ☐ なし ☒ 2023 年 11 月 20 日付「2023 年度環境経営活動計画」で問題なし。
実施体制 環境経営システム	変更の必要性 あり ☐ なし ☒ 問題なし。

1 2. 環境活動の実施

地域環境活動では自社に通じる道路の清掃を実施。